

佐賀県立宇宙科学館<<ゆめぎんが>> ～佐賀から宇宙を発見する～

橋本未緒

〈佐賀県立宇宙科学館 〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島 16351〉

e-mail: hashimoto-mio@yumeginga.jp

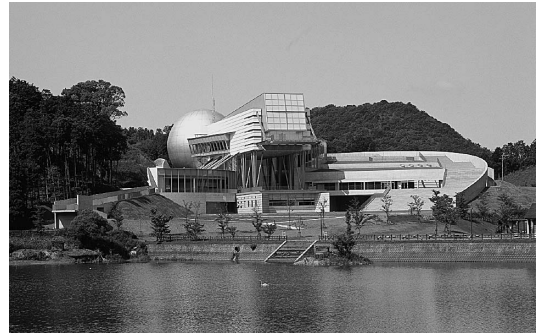
佐賀県立宇宙科学館は、佐賀県武雄市にある総合科学館で、2009年7月に満10年を迎えました。2007年には開館以来、入館者数200万人を達成し、現在も年間20万人前後の入館者でにぎわっています。当館の活動について紹介します。

1. 地域色豊かな展示

佐賀県立宇宙科学館は、「宇宙から地球・佐賀を発見する、佐賀から地球・宇宙を発見する」をテーマにした参加体験型の科学館として1999年7月、佐賀県武雄市に開館しました。展示床面積は、2,800m²で、展示ゾーンのほかに、プラネタリウム、天文台も併設されています。

館内は、大きく三つの展示ゾーンに分かれています。一つは、佐賀の自然をテーマとして、地層、化石、生物などの展示がある佐賀発見ゾーンです。佐賀発見ゾーンには、佐賀県武雄市ならではの「温泉」や、独自の環境で世界的にも珍しい有明海の生物の生態展示、カブトガニの水槽などがあります。二つめは、地球発見ゾーンと科学のおもちゃ箱です。マイナス20度の部屋や体験乗車できるリニアモーターカーなどがあります。三つめのゾーンは、宇宙発見ゾーンです。200kgのギベオン隕石や、H-II A ロケットのエンジン部の実物大模型のほか、月面歩行疑似体験のできる「ムーンウォーク」や、宇宙飛行士訓練体験のできる「宇宙トレーナー」があります。

2006年4月より、指定管理者制度が導入され、株式会社乃村工芸社と株式会社松尾建設の共同事業体で運営されています。2009年3月には最初の



佐賀県立宇宙科学館外観。

管理運営契約期間の3年が終了し、2009年4月以降も継続して運営が続けられています。

2. 昼間の天文台と夜間の観望会

当館では、平日土日ともに毎日さまざまなワークショップを開催しているのが特徴です。工作や実験、生物の観察などを通して、いつ来ても楽しみながら発見できる科学館を目指しています。天文台では、太陽や金星、一等星を観察できる「青空天文台」を1日3回行っています。

毎週土曜日の夜は、20cm屈折式望遠鏡や40cm反射式望遠鏡などを使った天体観望会を実施しています。観望会の時間には、実際の夜空で惑星や星座、一等星などをたどるミニ教室「ほしぞら★教室」も行っています。また、年間を通して



天文台の 20 cm 屈折式望遠鏡。

天体観望会に参加していただくため、月や惑星、春夏秋冬の天体を観察しスタンプを集める「星みたよ★スタンプラリー」を2010年4月よりスタートしました。

3. プラネタリウム

当館のプラネタリウムは、直径18 m 水平型ドーム200席で、コニカミノルタプラネタリウム社のジェミニスターシステムを採用しています。光学式投影機のインフィニウムγIIとデジタル式投影機デジスターIIによる複合システムです。インフィニウムγIIは、星数が約12,000個で、星の数としては決して多くありませんが、実際の星空に近い、やわらかな星空を表現できます。

星空の生解説とオート番組を組み合わせた投影スタイルを基本に、生解説のみの星空散歩も実施しています。星空をのんびり眺めるオーソドックスなプラネタリウム投影が好評です。その他、毎週土曜日の夜には月ごとのテーマに沿って生解説で展開する「サタデーナイトプラネタリウム」も行っています。

4. レンズ磨き工房

館内には、2007年度に石橋財団の助成を受けて設置された「レンズ磨き工房」があります。工房には本格的なレンズ研磨機があり、月4回程度



復元したガリレオ望遠鏡。

「レンズ磨き教室」を開催しています。教室では、実際にレンズを磨き、10倍のガリレオ式望遠鏡（対物レンズ：口径55 mm/焦点距離290 mm, 接眼レンズ：口径30 mm/焦点距離-29 mm）を製作することができます。レンズができあがっていく様子はなかなか目にするのがなく、磨き上がったレンズで自分の望遠鏡を作れるとあって、親子連れに人気があります。2010年度は接眼レンズを差し替えて、ケプラー式もできるようになりました。

通常のレンズ磨き教室とは別に、イタリアフィレンツェの博物館にある14倍のガリレオ式望遠鏡仕様のレンズ（対物レンズ：口径55 mm/焦点距離1332 mm, 接眼レンズ：口径30 mm/焦点距離-93 mm）を磨くこともできます。14倍望遠鏡では紙製の鏡筒か、本格的なレプリカ仕様の本製かを選ぶことができます。本製の鏡筒は、家具で有名な福岡県大川の家具専門家に依頼して特注しているものです。館では、ガリレオ・ガリレイの制作した望遠鏡のうち1本を忠実に復元しました。

5. 幅広い活動

当館では、年間3~4回、特別企画展を実施しています。2009年夏は、世界天文年にあわせて「古今東西宇宙(そら)へのあこがれ展」を行いました。宇宙をテーマに、天文学発展の歴史や宇宙開発などを幅広く紹介したオリジナル企画展で、50,519名の方に観覧していただきました。

また、世界天文年関連企画として「天文祭~Star Festival~」を実施しました。地域の天文愛好家の方たちの協力を得て実現した星のお祭りです。昼間は望遠鏡のクリーニングや使い方講座、工作コーナーなど、夜間はたくさんの望遠鏡を並べての大観望会を行いました。浅田英夫氏と山岡均氏をゲストに迎えた「マニアックプラネタリウム」では、普段は聞くことのできないようなマニアックな星空解説を楽しんでいただきました。このお祭りは2010年も継続して実施します。

その他天文関係の事業としては、講演会、プラネタリウムコンサート、お月見茶会、JAXA協力のコズミックカレッジなども開催しています。

館内での活動のほか、体験学習や発展的学習として学校地域団体支援活動にも力を入れています。地層見学や実験ショー、出張観望会など、天文・サイエンス・佐賀の自然分野それぞれで多彩な内容を実施しています。また2007年度より、学校との連携事業として、独立行政法人科学技術振興機構の補助事業である「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」を活用した事業も実施しています。2009年は、地域の高校とともにモデルロケットの製作および打ち上げを実施し、2010年度はさらに発展させた内容を実施する予

定です。

科学館前の小川では、5月下旬~6月にかけて、たくさんのホタルが飛び交い、観察に来た多くの人でにぎわいます。夏の天体観望会では、天の川を肉眼で観察することができます。春には野うさぎの姿も見られるなど、自然豊かな場所にある科学館です。みなさまのご来館をお待ちしております。

データ

佐賀県立宇宙科学館

〒843-0021 佐賀県武雄市武雄町永島 16351

Tel: 0954-20-1666 Fax: 0954-20-1620

URL: <http://www.yumeginga.jp>

開館時間: 平日 9:15~17:15, 土日祝 9:15~18:00, 春夏休み・GW 期間 9:15~19:00 (平日, 土日祝問わず)

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末、2010年9月1日~3日(臨時休館)

※春夏休み・GW 期間・正月は毎日開館

観覧料(大=大人, 高=高校生, 小中=小中学生, 幼=幼児, 単位:円)

常設展示: 大 500, 高 300, 小中 200, 幼 100

プラネタリウム: 大 500, 高 300, 小中 200, 幼 100
セット券(常設展示+プラネタリウム): 大 900, 高 540, 小中 360, 幼 180

年間パスポート: 大 3,000, 高 2,000, 小中 1,500, 幼 1,000

アクセス: 長崎自動車道武雄北方 I.C. より車で約 10 分, JR 武雄温泉駅よりタクシーで約 10 分